

ごみの分別にご協力をお願いします

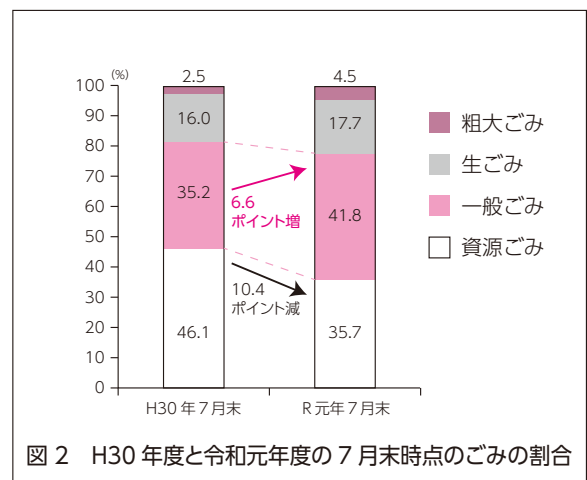
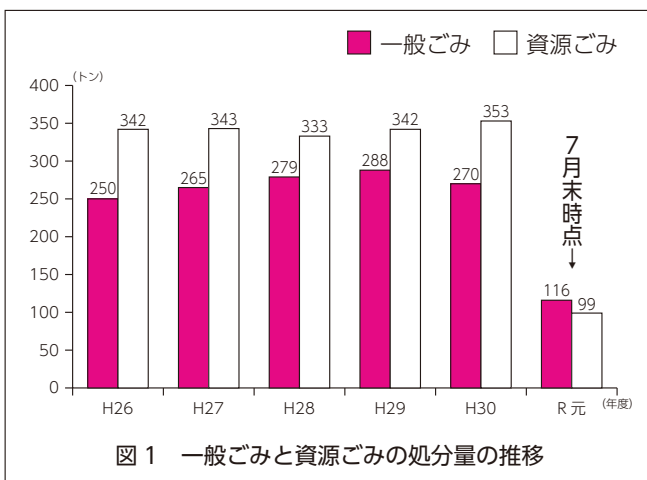
～一般ごみの割合が増え、資源ごみの割合が減る傾向～



町内から出されるごみのうち、一般ごみに分別されるごみの割合が増えている傾向がみられます。近隣5町で構成されている西天北五町衛生施設組合によると、本年度7月末時点（4月1日～7月31日）の一般ごみの量は116トン（全体の41.8%）、資源ごみは99トン（同35.7%）でした。このペースでいくと一般ごみの量は1年間で300トンを上回り、埋め立て処分地のかさ上げ時期を早めてしまうことにつながります。

幌延町の一般ごみの量は、過去5年間、資源ごみより50～100トンほど少なく推移していますが、今年是一般ごみの方が資源ごみより多くなっています（図1）。平成30年度の7月末時点の一般ごみ（94トン、全体の35.2%）に比べると、今年は6.6ポイント増えています。一方で、資源ごみは10.4ポイント減っていました（図2）。西天北五町衛生施設組合の現場担当者は、「最近、一般ごみに水分量の多い生ごみが混ざることが多くなった」と話し、一般ごみの処分の日に、処分施設内に強い悪臭が漂うように感じるといいます。

9月上旬には、5町から集められたごみの中に、本来「危険ごみ」に分類しなければならない電子タバコがプラスチックごみに混ざっていました。破碎処分の際に電池が切断され、赤く発煙した危険な状態で見つかりました。



ごみの適正な分別は施設を長持ちさせ、事故も防ぎます。
町民の皆さん、ごみの分別にご協力をお願いします。